

2021（令和3）年度学校関係者評価報告書

2022（令和4）年5月

学校法人AOI国際学院

AOI国際福祉専門学校

◆令和3年度 学校関係者評価報告書

学校法人A O I 国際学院A O I 国際福祉専門学校は、学校評価に関する関連法令に基づき学校関係者評価委員会を設置し、「令和3年度学校自己点検評価報告書」を基本にした学校関係者評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

1. 対象期間 2021（令和3）年4月1日～2022（令和4）年3月31日

2. 実施方法

1. 専修学校における学校評価ガイドラインを参考に実施
2. 年度末終了後に評価を実施
3. 評価結果はホームページに掲載

3. 学校関係者委員

氏 名	所 属
高 橋 剛	学校法人慶應義塾 学術研究支援部 課長
大 槻 清 一	社会福祉法人 欣水会 特別養護老人ホーム 滝の園 事務長
齊 藤 良 昭	鶴勝・齋藤駐車場 経営者

4. 自己点検評価項目

以下の11項目について実施

- | | |
|----------------------|-------------------|
| ◇基準1 : 教育理念・目的・人材育成像 | ◇基準6 : 教育環境 |
| ◇基準2 : 学校運営 | ◇基準7 : 学生の受け入れ募集 |
| ◇基準3 : 教育活動 | ◇基準8 : 財務 |
| ◇基準4 : 学修成果 | ◇基準9 : 法令等の遵守 |
| ◇基準5 : 学生支援 | ◇基準10 : 社会貢献・地域貢献 |
| | ◇基準11 : 国際交流 |

5. 評価項目に対する評価基準

適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

- ・自己評価は適切である。
- ・介護福祉士の養成校として「福祉のこころ」を介護現場で実践できる介護福祉士の養成に努めると言う建学の精神通りの教育がなされている。また、学外に向けての発信もホームページから適切に行われている。
- ・建学の精神、教育方針も明確であり、入学志望者へも分かりやすく伝えられている。また、ホームページも多言語で掲載するなど発信方法も工夫されている。
- ・教育理念・育成人材等については明確に建学の精神に定められ、パンフレットやハンドブックに示され、ホームページでは6ヶ国7言語により広く周知、公表されている。介護福祉に必要な専門職として理論・専門知識を教授し卒業後の目的も明確である。

- ・自己評価は適切である。
- ・HPは見やすく、財務状況等も適切に公表されている。
- ・運営方針やそれに基づく事業計画の策定など組織としての意思決定の仕組みは構築されている。財務情報等の情報公開も適切である。前年度からの課題である教務・財務等に関する規程の整備が期待される。
- ・介護福祉士養成施設が教育目的を達成するために、運営方針のもと、具体的な事業計画が策定されている。意思決定機能、役割分担と決定権限、組織運営に関する諸規定は整備されている。データの一元管理や予定表の共有化、学籍管理システムを積極的に取り入れており、効率的な業務の推進を図ったことがうかがえる。

-
- ・自己評価は適切である。
 - ・学生の就職先施設や企業・関係団体と連携を密に取りながら教育活動を行っている。
引き続き教育の質の向上を目指し取り組んで欲しい。
 - ・昨年度自己評価の低かった項目も改善されてきている。
引き続き不断の点検・評価で学修環境の更なる向上に注力して欲しい。
 - ・介護福祉士の資格取得に必要な条件に基づき、体系的カリキュラムが編成されていることがうかがえる。
今後もカリキュラム・教育内容については、見直し等の検証をお願いする。

-
- ・自己評価は適切である。
 - ・就職率100%は創設以来学校を上げて努力した成果だと思う。
 - ・留学生の日本語教育については教職員の皆様のご苦勞を察するが、より一層の努力をお願いする。
 - ・国家試験合格率の増減に一喜一憂することなく、丁寧な教育と在学生とのコミュニケーションを保ち、学修意欲の向上に努めることが期待される。
 - ・適切な就職のサポートにより100%、今後も現在の取り組みの継続をお願いする。
国家試験合格者の減少については、留学生の日本語教育の徹底を図り、国家試験対策講座の実施、指導体制を構築することにより、資格取得率の向上を期待する。

◇基準5 : 学生支援

総合評価

3.9

- ・自己評価は適切である。
- ・教職員が卒業生を含め学生に寄り添い支援する姿勢は素晴らしく思える。
- ・引き続き学生目線の対応を心掛け、将来の希望をもって学修できる状況を整えていくことは重要である。
- ・学生の健康管理に対する支援策として年1回の健康診断を実施し、看護資格者が日常の健康管理も行っている。経済面に対する支援体制も整備している。引き続き現在の支援体制を維持していただきたい。

◇基準6 : 教育環境

総合評価

4.0

- ・自己評価は適切である。
- ・学校施設・設備とも充実しており申し分ない。
- ・学内外の修学環境の一層の充実に向けて、現在の取り組みを継続することが期待される。
- ・介護福祉士養成施設として十分設備されており、学習支援環境、防災に対する体制ともに整っており、継承していただきたい。

◇基準7 : 学生の受け入れ募集

総合評価

4.0

- ・自己評価は適切である。
- ・多様な背景を持つ学生が共に学ぶことは有益であり、学修効果への好影響が期待できることから、日本人学生の割合の目標値を定め、教職員間で募集活動の具体策の共有・実行と点検は欠かせない。
- ・学生募集広報活動は適正に行われており、教育成果も正確に伝えられている、引き続き、県立・私立高校・在留各国の人々に広報活動を行っていただきたい。
学生納付金は、他校と比較して同等であり、教育内容に照らし合妥当であると考えます。

-
- ・自己評価は適切である。
 - ・コロナ禍での学生確保、特に外国人留学生確保は大変だとは思いますが、安定した授業料収入確保のために引続きのご努力をお願いします。
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止策による影響はやむを得ないところである。2022年度以降の回復を期待する。
 - ・コロナ渦による、入国制限が影響、入学者減少と厳しい状況であるが、財務状況及び会計監査は適正であり、経済の悪化を見据え収支を考慮し運営執行をお願いしたい。財務状況はホームページ上で公開されており、情報公開の体制整備はされている。

-
- ・自己評価は適切である。
 - ・点検・評価の結果を客観的に分析し、改善に向けた施策が実施されているか常に意識して更なる改善を実現することが期待される。
 - ・関連法令専修学校設置基準を遵守し適切に学校運営を行っている。個人情報保護に関しては、アクセス権限の設定・パスワードにて管理している。

- ・自己評価は適切である。
- ・職業訓練委託校として社会人の受入れを行ったことは優れた取り組みとして評価できる。
- ・今後の取組に挙げられた実務者研修講座開講を期待する。
- ・学生が地域に歓迎されていると実感することは学修成果にも好影響を与えられるので、まずは、地域のニーズ調査から始めることが期待される。
- ・コロナ感染者急増、茨城県・土浦市非常事態宣言 土浦市、地域の町内会活動はすべて中止となり、特別な活動はできない環境であった。

- ・自己評価は適切である。
- ・入学前の資格外活動の就労時間の把握は、本人申告等以外把握する手段は限られてしまうと思うが、法令等遵守の観点からもより一層の努力をお願いします。
- ・自己評価点は前年度と変わっていないが、実際の対応状況など世情に合わせた取り組みが実施されている。引き続き、学生に寄り添った対応を期待する。
- ・世界的にコロナ感染者拡大、各国とも入国・出国禁止令により国際交流は停止状態にあった。留学生の正課外に日本語学習のフォローを行っており、生活指導、在留資格更新手続きのフォローも行っている。